

北海道横断自動車道 根室線(尾幌^{お ぼ ろ}～糸魚沢^{い と い ざ わ})

第2回 説明資料

平成30年6月21日

国土交通省 北海道開発局

目 次

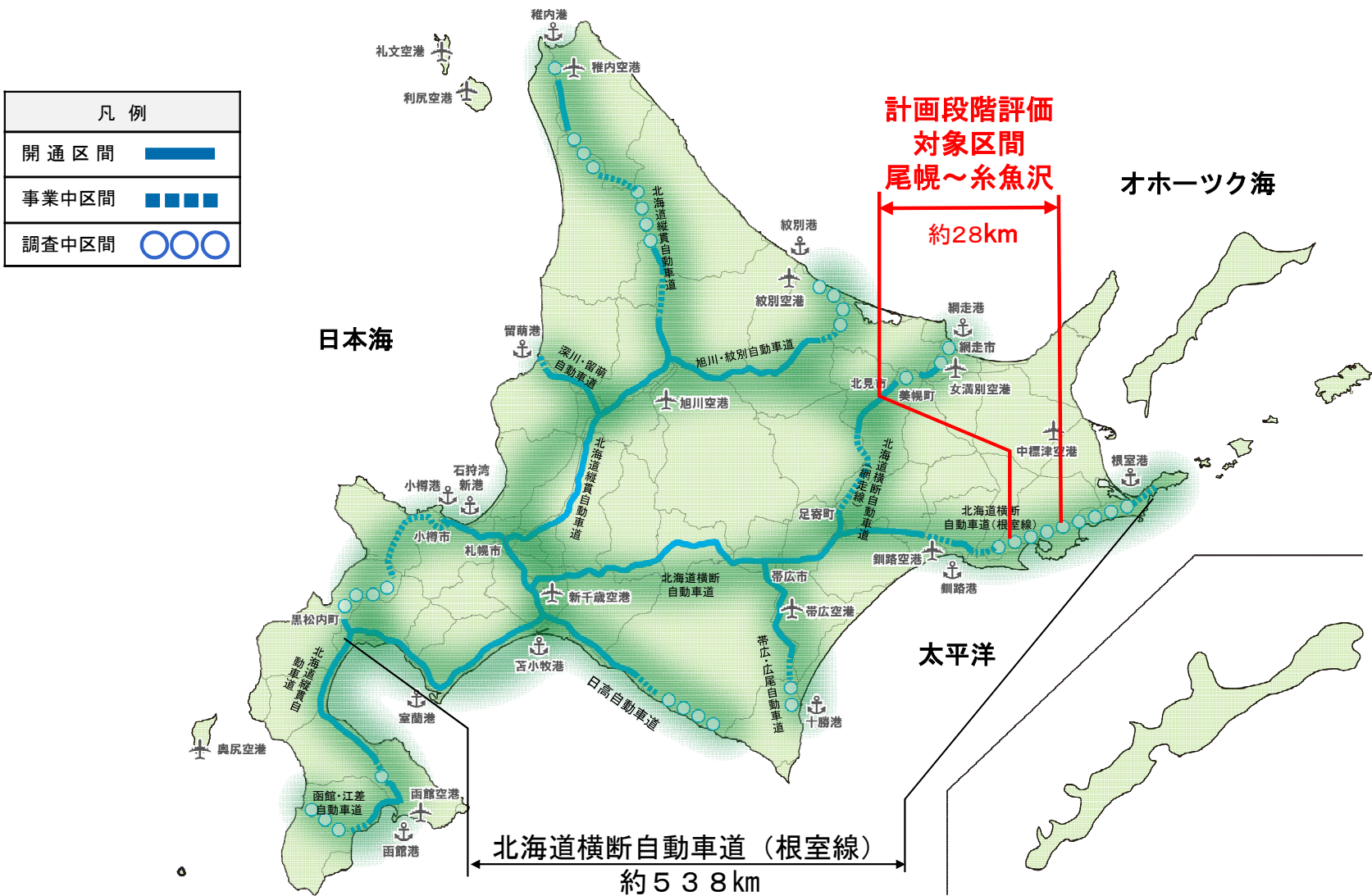
1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第1回地域意見聴取結果
3. 地域意見を踏まえた政策目標
4. 路線の整備方針（案）
5. 第2回地域意見聴取方法

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1) 北海道の高規格幹線道路網

○北海道横断自動車道(根室線)は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市、釧路市等を経由し、根室市へ至る延長約538kmの高規格幹線道路で、尾幌～糸魚沢間はその一部区間。

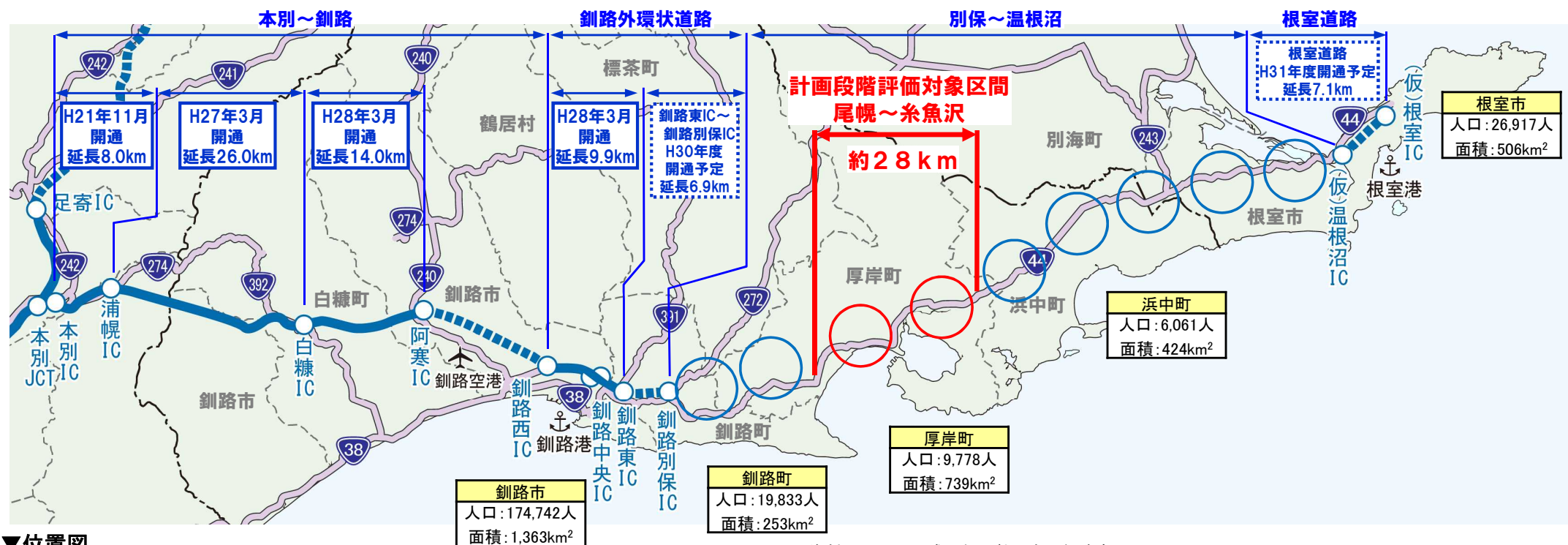
○当該区間は、釧路市～根室市間のうち、厚岸町に位置する延長約28kmの区間。



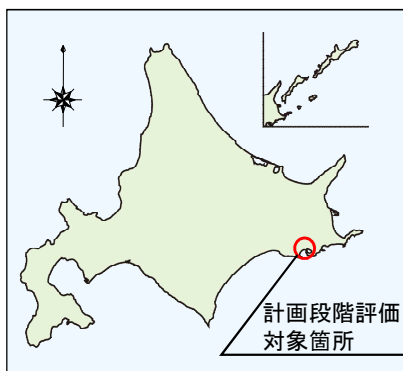
1-2) 北海道横断自動車道(根室線)の進捗

○北海道横断自動車道(根室線)は、平成28年3月に白糠IC～阿寒IC間が開通済み。

○釧路外環状道路は、平成28年3月に釧路西IC～釧路東IC間が開通し、釧路東IC～釧路別保IC間は平成30年度に開通予定。



▼位置図



資料 人口：平成27年国勢調査（総務省）
面積：平成28年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）

凡 例	
開 通 区 間	
事業中期間	
調査中期間	

1-3) 計画段階評価の手続きの進め方(案)

- 平成29年12月6日から約3週間、地域意見聴取を実施。
- 本委員会は地域意見聴取を踏まえた政策目標の設定および、路線の整備方針等について議論。

【平成29年8月25日】

【平成29年12月6日
～12月27日】

今回

北海道
地方小委員会

- 【審議内容】
- 計画段階評価
手続きの進め方
 - 地域・道路の
現状と課題
 - 地域意見聴取方法

地域意見聴取
(第1回)

- 地域・道路の課題
- ◆意見聴取方法(案)
＜ヒアリング＞
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
- ＜アンケート＞
対象者
・地域住民
・道路利用者

北海道
地方小委員会

- 【審議内容】
- 地域意見聴取の結果
 - 地域意見を踏まえた
路線の政策目標
 - 地域意見を踏まえた
路線の整備方針(案)
 - 比較ルート案
(複数案)
 - 地域意見聴取方法

地域意見聴取
(第2回)

- 路線の整備方針
- ◆意見聴取方法(案)
＜ヒアリング＞
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
- ＜アンケート＞
対象者
・地域住民
・道路利用者

北海道
地方小委員会

- 【審議内容】
- 地域意見聴取の
結果
 - 対応方針(案)
の検討

対応方針の決定
(概略ルート・構造等)

北海道地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

1-4) 前回委員会での主な意見と対応

■第1回計画段階評価（第14回北海道地方小委員会）の概要

実 施 日 平成29年8月25日（金）		
議事内容		
○地域の概況	○地域の状況と課題	○道路の状況と課題
○課題の整理	○意見聴取方法	

■主な意見と対応状況

主な意見	対 応	資料
・生産空間を支え、人が住める環境づくり、経済活動の面からも道路の整備は重要。また拠点となる釧路港や釧路空港との連結強化や二次交通の整備も重要。	・横断道、釧路外環状道路、釧路新道が整備され、釧路空港や釧路港との連結が進んでいることを追記。	参考資料1:P26
・当該地域の状況や課題がよく分析され、道路の重要性は認識。加えて、当該地域は北方領土隣接地域であり、政策としても重要性が高い。	・北方領土隣接地域の施策について追記。	参考資料1:P7
・地域医療を支える道路は重要であり、釧路根室圏の医療は釧路市の重要性が増している。高度医療は札幌との空路搬送もあるため医療従事者の移動の観点からも釧路空港との連結強化が重要。	・医療従事者移動の観点から釧路空港との連結強化の重要性に関する文章を追記	参考資料1:P22
・爆弾低気圧や急速に発達する低気圧は増加傾向にあるが、「二つ玉低気圧が増加傾向」という表現は違和感を感じるため、文言の修正を検討していただきたい。	・「二つ玉低気圧」から「急速に発達する低気圧」に表現を修正。	参考資料1:P15
・地震津波、冠水被害もあるが、近年は高潮被害も増加傾向。	・道路の状況と課題(水害)において、高潮による通行止履歴を追加。	参考資料1:P28
・地域意見聴取において、加工業等の地域経済活動を支える企業にもヒアリングしてはどうか。	・水産加工会社5箇所、乳牛メーカー2箇所、運送会社3箇所、計10箇所を追加。	参考資料1:P43
・アンケートの設問が一般の方には理解し難いものがあるので、わかりやすい言葉とすべき。	・アンケートの設問を一般の方が理解し易い言葉に修正。	参考資料1:P47

2. 第1回地域意見聴取結果

2-1) 第1回地域意見聴取の概要

○第1回地域意見聴取は、住民・道路利用者へのアンケート調査、および沿線自治体・関係団体へのヒアリング調査を実施。

■地域意見聴取期間
平成29年12月6日(水)～12月27日(水)

■地域意見聴取の対象



アンケート調査			
住民・道路利用者	配布	全戸配布、郵送回収	厚岸町約4,000世帯 浜中町約2,400世帯 根室市約11,600世帯 合計約18,000世帯
	留置き	市役所(根室市)、町役場(厚岸町、浜中町)および道の駅(厚岸グルメパーク、スワン44根室)に調査票を常設、郵送または投函箱による回収	合計 5箇所
	Web	北海道開発局釧路開発建設部のホームページに開設	広く意見を聴取
ヒアリング調査			
自治体代表者及び関係団体	沿線自治体等	釧路総合振興局、根室振興局、釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、根室市	合計 7団体
	関係団体	商工会議所(2箇所: 釧路、根室)、商工会(2箇所: 厚岸、浜中)、根室市町会連合婦人部連絡会 農業協同組合(2箇所: JA釧路太田、JA浜中町) 漁業協同組合(3箇所: 厚岸漁業協同組合、根室漁業協同組合、浜中漁業協同組合)、農水産加工会社(7箇所) 釧路地区トラック協会、運送会社(3箇所) 消防本部・消防組合(3箇所: 釧路東部消防組合消防本部・厚岸消防署、浜中消防署、根室市消防本部) 病院(3箇所: 市立釧路総合病院、町立厚岸病院、市立根室病院)	合計 27箇所

2-2) 第1回地域意見聴取の実施状況(アンケート調査)

○地域住民・道路利用者に対して、釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題と尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について、アンケート調査を実施。

■地域意見聴取内容

回答者属性（住所、性別、年齢、職業、自動車運転頻度、尾幌～糸魚沢間の利用頻度・利用目的）

- 問 1 釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題について
- 問 2 国道 4 4 号尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について
- 問 3 その他尾幌～糸魚沢間についての意見・要望について（自由意見）

■配布形式調査票



■自治体HP掲載状況



根室市HP

■留置き状況



道の駅スワン44ねむろ

■自治体の広報状況



I P 告知端末は、双方向告知システムを利用した機器で、光ネットワークによる行政と住民のコミュニケーションツール

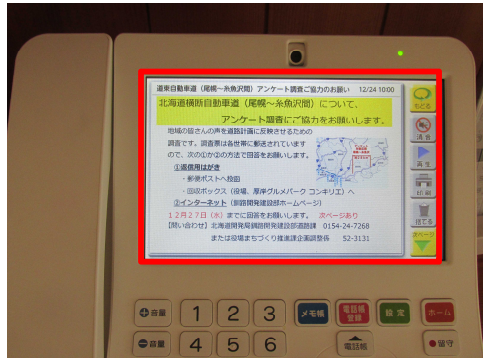
■Web(釧路開発建設部HP)



厚岸町HP



厚岸町役場



厚岸町 I P 告知端末

2-3) 第1回地域意見聴取の実施状況(ヒアリング調査)

○沿線自治体・関係団体に対して、釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題と尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について、ヒアリング調査を実施。

■意見聴取内容

- 問 1 釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題について
- 問 2 国道 4 4 号尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について（理由、課題の実態）
- 問 3 その他の尾幌～糸魚沢間についての意見や要望について

■実施状況

調査対象			実施状況
沿線自治体等			7 団体
各団体	産業団体	商工会等	5 箇所
		農水産業関連	1 2 箇所
		物流（輸送関連）	4 箇所
	医療・ 消防	消防	3 箇所
		病院等	3 箇所
合計			3 4 箇所



(沿線自治体)



(漁業協同組合)



(根室市町会連合会婦人部連絡会)



(消防本部)

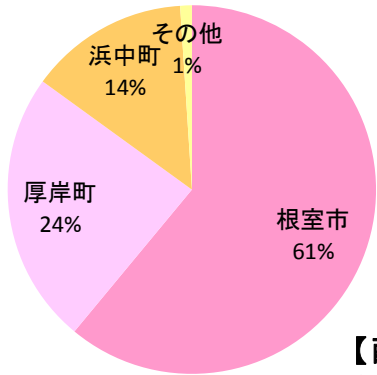
2-4) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(回収状況・居住地)

○全回収数は4,162人で、配布形式は3,693人、留置きは226人、Webは243人が回答。
○回答者の居住地は、沿線自治体95%、その他の釧路根室地域の市町村、釧路根室地域以外の道内・道外が5%。

▼調査票回収状況

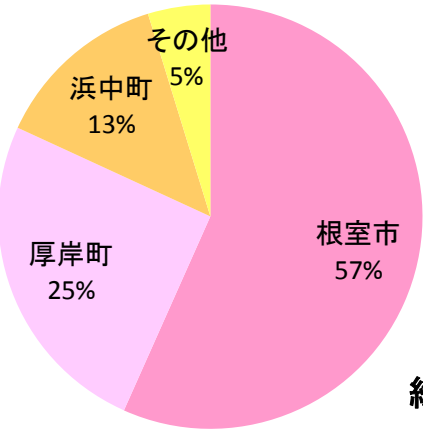
調査形式	配布数	回収数	回収率
配布(沿線自治体)	18,000票	3,693票	21%
留置き(道の駅)	—	226票	—
Web	—	243票	—
合計	18,000	4,162票	—

▼居住地(配布)



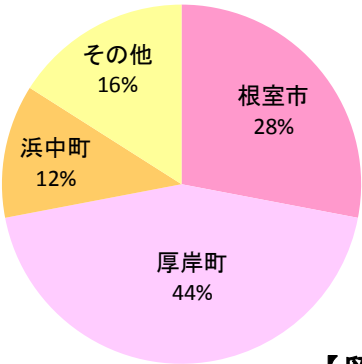
【配布】
総回答者数 N=3,693

▼回答者居住地



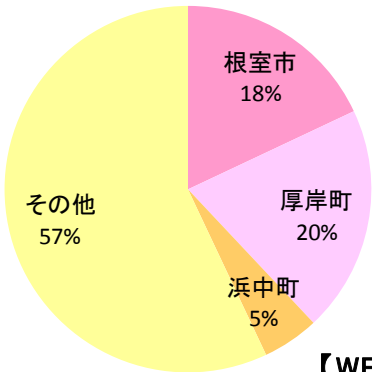
総回答者数 N=4,162

▼居住地(留置き)



【留置き】
総回答者数 N=226

▼居住地(Web)

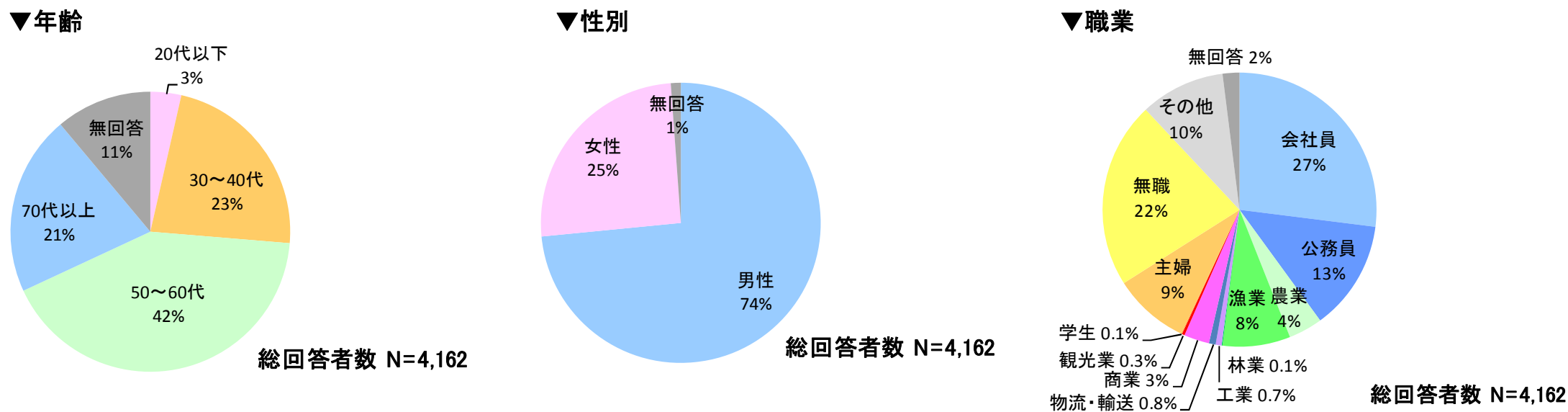


【WEB】
総回答者数 N=243

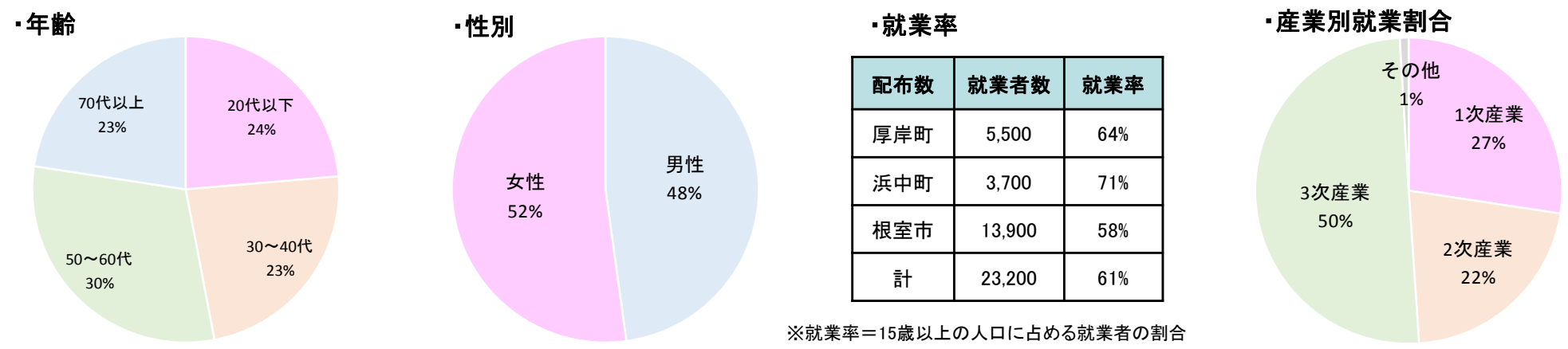
2-5) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(回答者属性)

○年齢構成は50代以上が6割以上を占め、性別では男性が7割以上と高くなっており、若年層や女性からの回答割合が低い状況。

○職業については、会社員が約3割で最も多く、次いで高齢者と想定される無職が22%、公務員が13%。



【参考】沿線自治体(厚岸町、浜中町、根室市)の統計データ



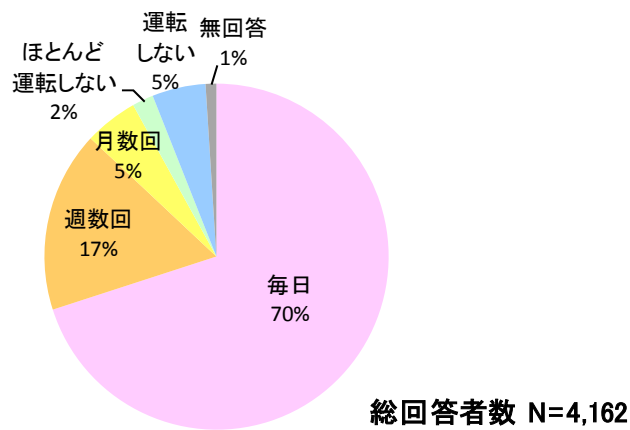
※就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

2-6) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度等)

- 自動車運転頻度は、回答者の7割が毎日運転と回答。
- 尾幌～糸魚沢間の利用頻度は、毎日～月数回の高頻度利用者が7割以上を占めている。
- 尾幌～糸魚沢間の利用目的は、家事・買物、通院、観光・レジャー、仕事(営業・運送等)の順で多くなっている。

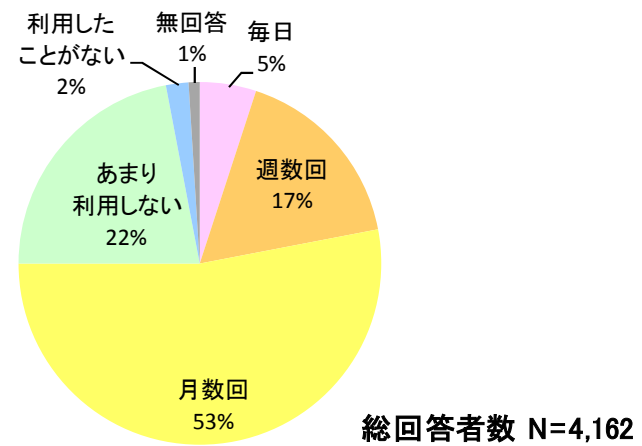
▼自動車を運転する頻度

質問. 自動車を運転する頻度を教えてください(単数回答)



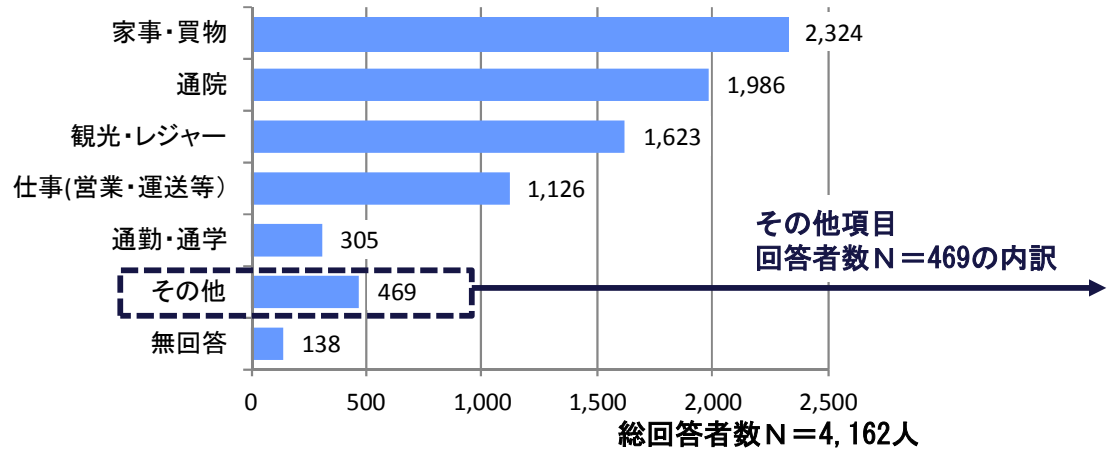
▼国道44号尾幌～糸魚沢間の利用頻度

質問. 国道44号尾幌～糸魚沢間の利用頻度を教えてください(単数回答)

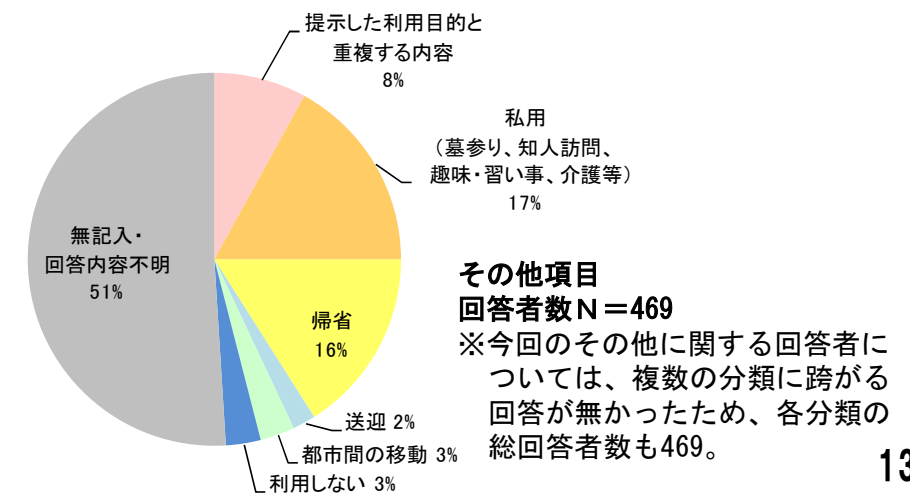


▼尾幌～糸魚沢間の利用目的

質問. 尾幌～糸魚沢間の主な利用目的を教えてください(複数回答)



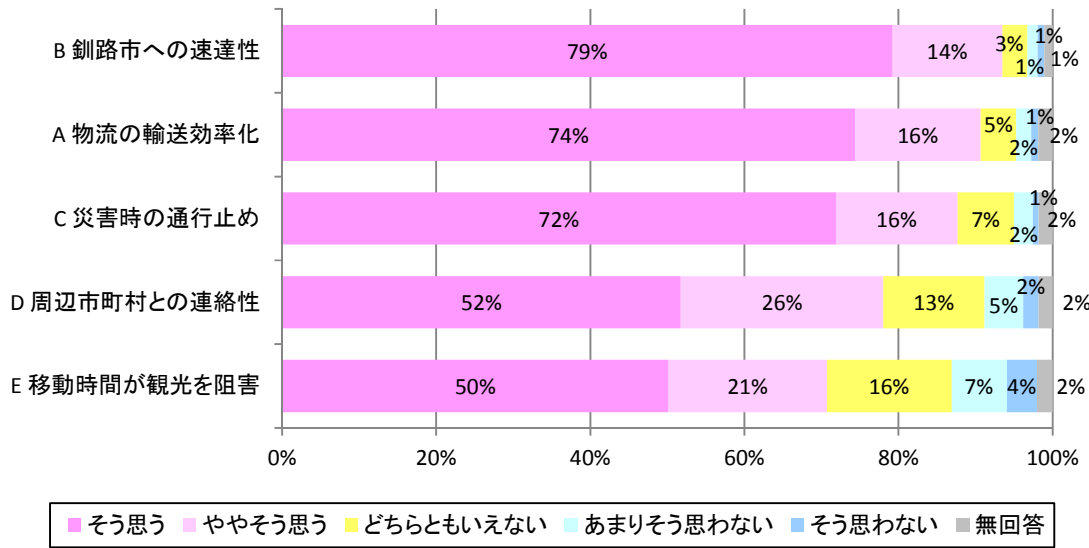
▼尾幌～糸魚沢間の利用目的(その他項目の回答内容)



2-7) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(将来を見据えた地域の課題)

○釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題については、各課題全てに対し、7割以上が課題と感じている。
○特に、釧路市への速達性や、物流の輸送効率化について課題として感じている意見が多い。

▼将来を見据えた地域の課題について



質問1-1.
釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか。
以下に示すA~Dについて、「そう思う」~「そう思わない」の5段階で評価して下さい。(単数回答)

A 農水産物の輸送に時間がかかるため、地域産業発展のためにも効率の良い輸送が必要である

B 様々な病症に対応できる病院が釧路市に限られるため、釧路市へ早く到着することが必要である

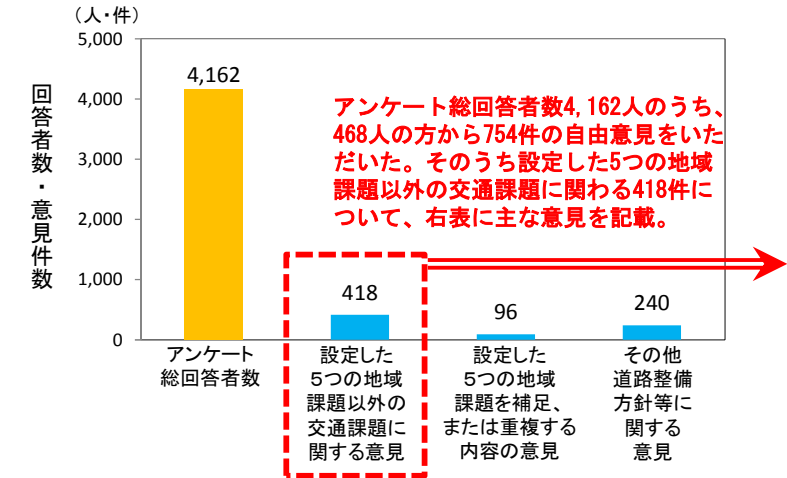
C 津波災害時の浸水や大雨などによる冠水時に道路が通行止めとなり、緊急輸送の妨げになる

D 中心都市である釧路市と周辺市町村との移動距離が長く、日常生活に影響が出ている

E 移動に時間がかかるため、釧路根室地域での観光周遊の妨げになっている

総回答者数N=4,162人

▼その他の課題



質問1-2. 質問1-1の選択肢以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。(自由記述)

分類	主な意見
安全性・走行性【214件】	・道路の線形が良くないので、特に冬季における運転には恐怖を覚える。 ・鹿等の動物の心配があるため、安心して運転ができない。
防災【44件】	・自然災害時における安全な移動・輸送ルート確保が非常に大切と考えます。
アクセス・交通機能【43件】	・車両の流れが悪く(遅い車等)交通渋滞が起きている。
まちづくり【72件】	・地域に必要な医療従事者の確保と救急搬送体制の充実。
その他(景観・環境への影響、維持管理等)【45件】	・道路補修が行き届いていない道路が多い。

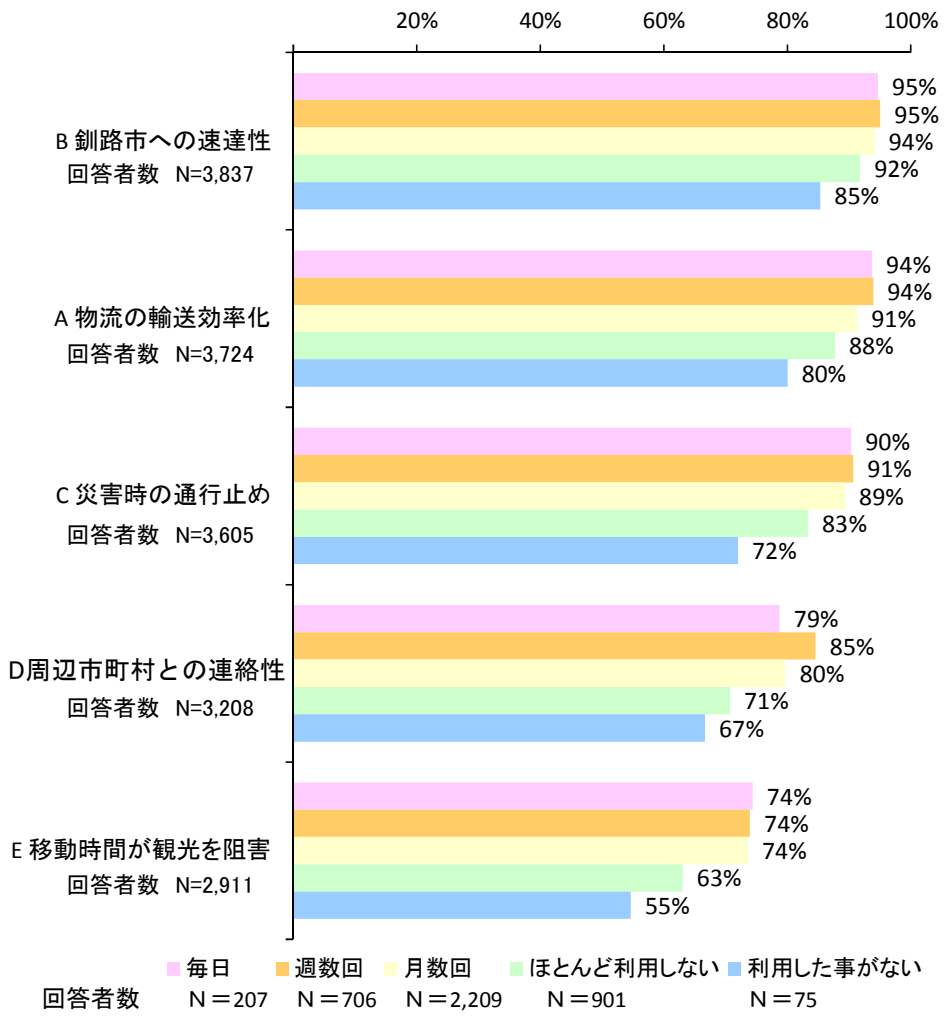
自由意見回答者数 468人、総意見数 754件

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

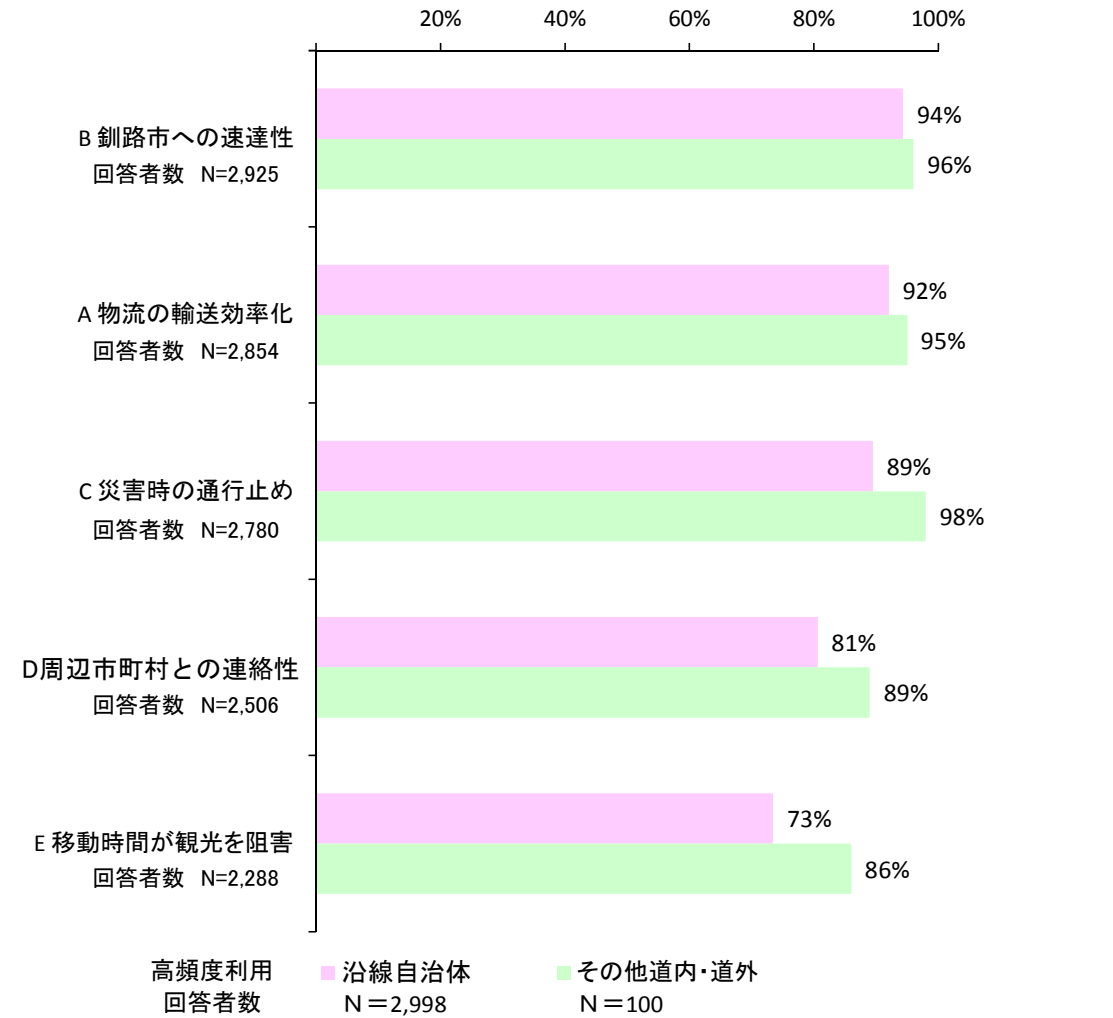
2-8) 第1回意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度別地域課題)

○尾幌～糸魚沢間の地域課題を利用頻度別にみると、利用頻度が高い回答者の賛同意見割合が高い状況。
○尾幌～糸魚沢間の高頻度利用者(毎日・週数回・月数回)のうち居住地別にみると、沿線自治体よりも、トリップ長がより長いと思われる利用者が、各地域課題についての賛同割合が高い。

▼尾幌～糸魚沢間利用頻度別の賛同意見割合
(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)



▼尾幌～糸魚沢間高頻度(毎日・週数回・月数回)利用者における居住地別の賛同意見割合 (「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)

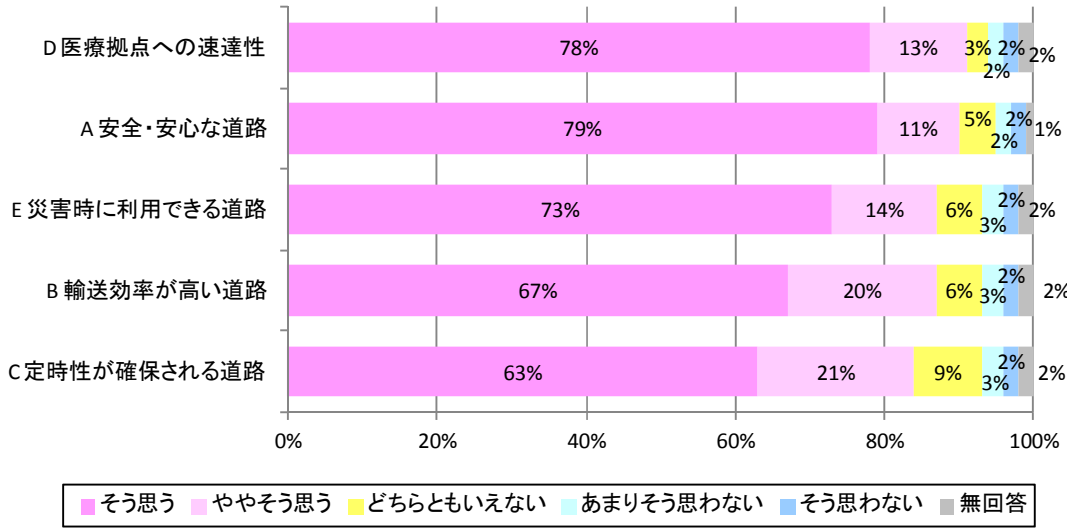


高頻度利用回答者数 N=3,098人

2-9) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能)

○尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能については、各機能に対して8割～9割が必要を感じる傾向。
○特に「医療拠点への速達性」や「安全・安心な道路」について必要と感じる意見が多い。

▼尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について

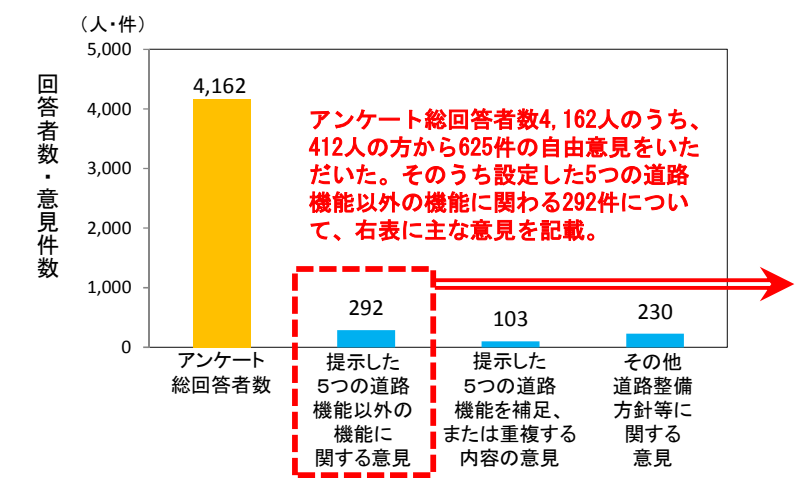


質問2-1.
尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能はどのような道路だと思いますか。
以下に示すA～Eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価して下さい。(単数回答)

- A 事故が少なく安心して走れる道路
- B ドライバーの負担軽減を図るため、輸送時間の短縮による輸送効率の高い道路
- C 冬季に速度低下の大きい市街地においても一定時間で通過できる定時性が確保される道路
- D 医療拠点である釧路市へ早く到着するため、速達性を向上させる安定走行が可能な道路
- E 津波災害による浸水時にも救援物資輸送などの地域支援に利用できる道路

総回答者数 N = 4,162人

▼その他の道路に求められる機能



アンケート総回答者数4,162人のうち、412人の方から625件の自由意見をいただいた。そのうち設定した5つの道路機能以外の機能に関する292件について、右表に主な意見を記載。

質問2-2. 質問2-1以外の選択肢で、あなたが必要だと思うことがあればご自由にお書き下さい。(自由記述)

分類	主な意見
安全性・走行性【175件】	・道路への動物(主に鹿)侵入が多く、交通事故等の危険が深刻だと思う。高速道路等ができると、一般道よりも安全さが増すと思われる。 ・交通事故も多い道路で過去幾多の事故を見てきた。カーブや勾配が多く運転しづらく、運転が疲れる。追い越し車線がすくないので、走行に支障が出ることが多い。
防災【26件】	・主要道路が1本しかなく、特に冬期の通行止め時の迂回道路がなく交通が遮断されてしまうことの解消。
アクセス・交通機能【31件】	・釧路根室間は車が主な交通手段です。時間の短縮が必要。
まちづくり【32件】	・観光客が道東圏にも足を伸ばしていただける道路が必要。
その他(景観・環境への影響、維持管理等)【28件】	・釧路市への速達化は切に願いますが、まわりの自然環境への影響もとても心配です。

自由意見回答者数 412人、総意見数 625件

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

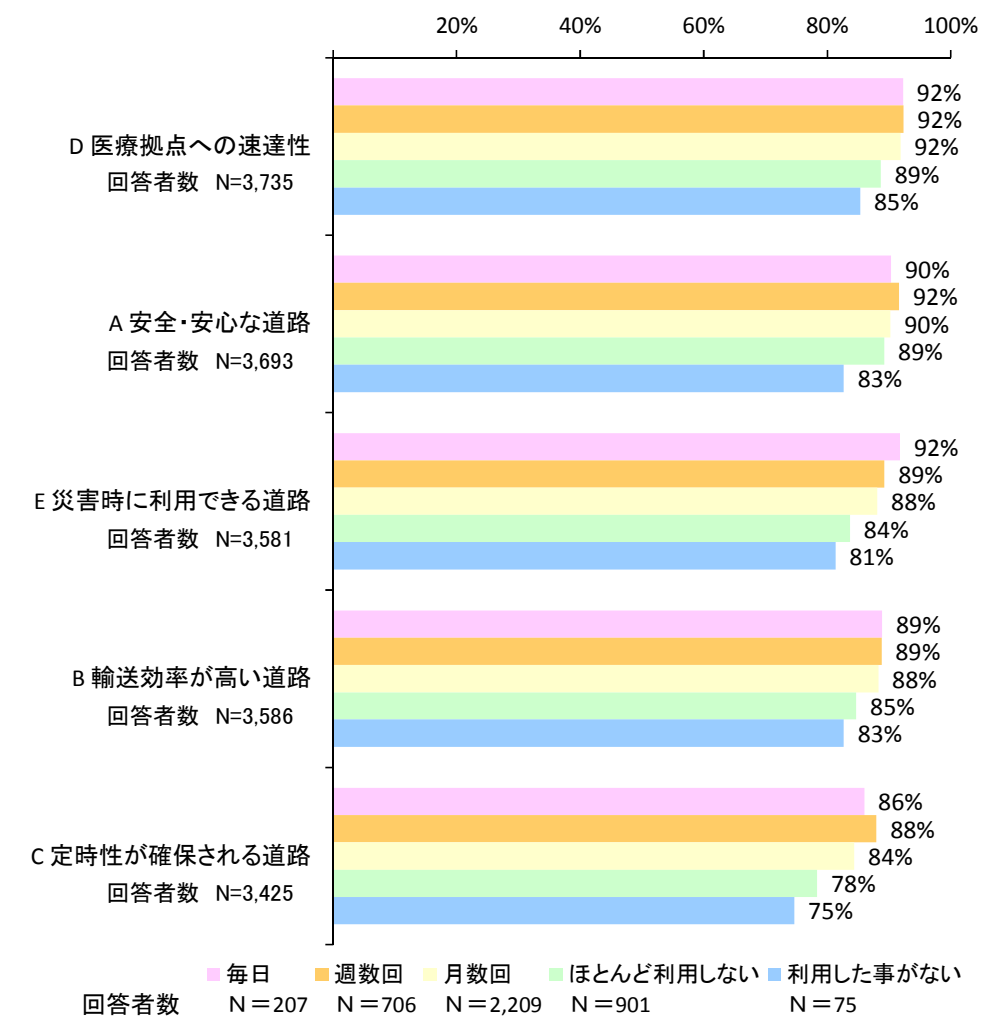
※掲載件数は意見件数の1% (1件以下切り上げ)

2-10) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(利用頻度別道路機能)

○尾幌～糸魚沢間の道路機能を利用頻度別にみると、利用頻度の高い回答者の賛同意見割合が高い状況。
○尾幌～糸魚沢間の高頻度利用者(毎日・週数回・月数回)のうち居住地別にみると、沿線自治体よりも、トリップ長がより長いと思われる利用者の賛同割合が多い。

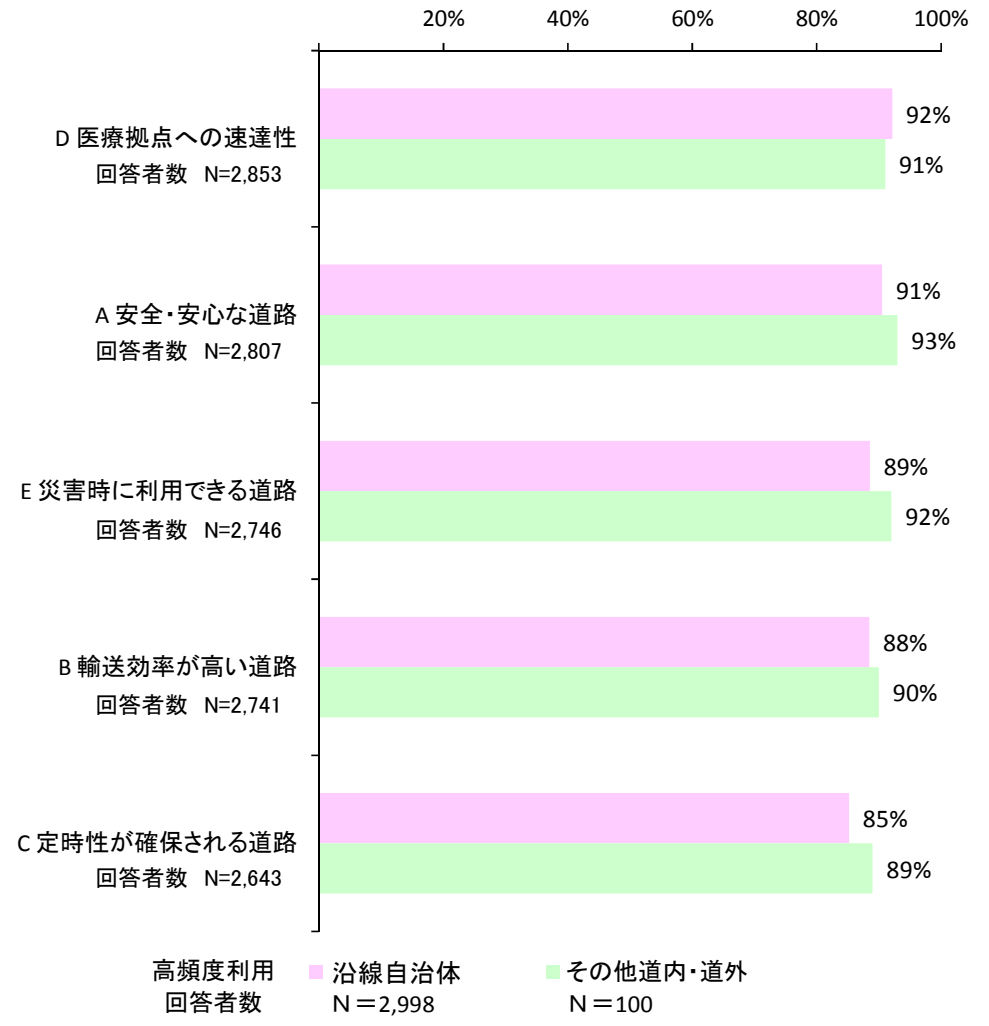
▼尾幌～糸魚沢間利用頻度別の賛同意見割合

(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)



▼尾幌～糸魚沢間高頻度(毎日・週数回・月数回)利用者における居住地別の賛同意見割合

(「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合)



高頻度利用回答者数 N=3,098人

2-11) 第1回地域意見聴取の結果 アンケート調査(自由回答)

○その他の意見・要望としては、早期着工・開通への要望や期待、整備方針に関する意見が寄せられた。
○一方で、現道の整備や既存道路の機能強化に関する意見も寄せられている。

▼その他の意見・要望

質問3. その他、尾幌～糸魚沢間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。(自由記述)

主な意見

- ・道東には必要な道路であると思いますので、早期に工事を開始して完成することを期待します。併せて釧路～尾幌間や糸魚沢～根室間がつながることによって、より便利な道路になることと考えます。
- ・高速道路が阿寒まで開通し、道央圏からも観光客が多く利用されている路線であり、これから高速道路が延伸されると今以上に利用されることが予想できるので、早期に整備してほしい。
- ・根室市に在住しておりますが、充実した生活を送るためには釧路市との往来は欠かせないと感じております。しかし、片道2時間の道のりは負担がかかります。特に、エゾシカとの接触事故や冬季間のスリップなどが多く、物流・医療・観光など様々な観点から考えても安全で運転しやすい道路をつくることは非常に重要であると考えています。早期の着工を強く望んでおります。
- ・災害があっても、確実に確保できる道路を一刻も早く着工してもらいたい。
- ・災害(地震・津波等)はいつ起こるかわかりません。そのため本区間の早期着工、早期完成を望みます。
- ・津波災害時の避難・救援ルートとなるので、町道、道道からアクセスしやすく、避難時の待機スペースを近い間隔で整備してほしい。
- ・片側1車線は、事故時通行止めになるので、大型物流も考え、片側2車線が理想だと思う。
- ・湿原等自然環境への影響が最少ですむ様なルート選定、工事を検討願います。
- ・今の国道44号でも鹿との衝突を除けば、輸送効率は十分だと思う。無駄な税金を使ってもう1本道路を作るより、既存の国道44号を直線化、道路拡幅、地吹雪対策及び鹿防護ネット等を拡充させた方が、工期も短く、費用も安く、より現実的だと思う。
- ・根釧の豊かな自然を残しながら、ただの高速化目的の道路とせず、特色のある道路整備を求めます。
- ・人口が減少していく、そして過疎化がより一層進む中で、新しく道路を造る必要は感じない。今ある道路を少しでも良くする方法も考えるのが大事では。

2-12) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(将来を見据えた地域の課題)

○釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題については、特に「物流の輸送効率化」への意見が多く寄せられた。

▼将来を見据えた地域の課題について

質問1-1. 釧路根室地域の将来を見据えた地域の課題についてご意見をお聞かせください。

項目	自治体	商工会議所 商工会等	農協・漁協	農水産加工会社	運輸	医療・消防
A物流の輸送効率化	○	○	○	○	○	○
B釧路市への速達性	○	○	○	○	○	○
C災害時の通行止め	○	○	○	○	○	○
D周辺市町村との連絡性	○	○	○	○	○	○
E移動時間が観光を阻害	○	○	○	○	○	○

▼選択した項目が重要だと思う理由

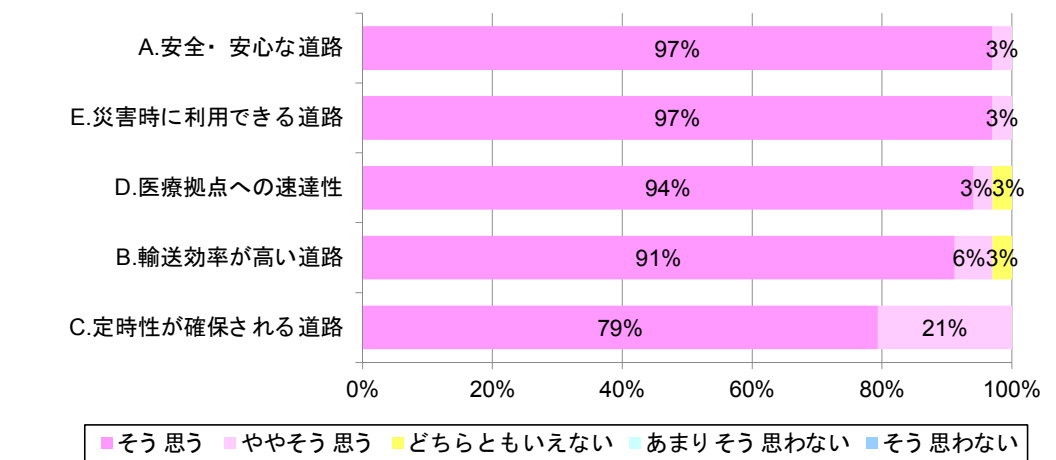
総回答数 N=34

項目	主な意見
物流の輸送効率化	・トラック業界では労務管理厳格化により休憩時間を厳守することになり、以前と比べると1時間は早く出さなければならない。なおかつ運賃もあがり、コスト的にもかなり厳しいため、輸送効率化は重要。 【農水産加工会社】 ・漁獲期である秋口から年末にかけては人が足りないが、今は募集しても人が来ないため、人手不足を補うためにも効率の良い輸送ルートが必要。 【運送会社】
釧路市への速達性	・早期到着の目標として、交通外傷であれば受傷してから1時間以内に治療しなければならないというのが生命線となっているが、現状では釧路の病院まで最低1時間20分かかっている。道路が整備されることによって、より時間が短縮されればと考えている。 【消防】 ・ドクターヘリが飛べない時や夜間は救急車で救急搬送となることから、1分1秒でも早い時間短縮は病院全体の願いであり想いである。 【病院】
災害時の通行止め	・通行止めになって出荷できなくなっても自然災害に保険は効かない。迂回するとしても輸送量が限られ、大きな損害を負うことになる。 【漁業協同組合】 ・大型トレーラーの場合、迂回路のような道は通れない場合がある。 【農水産加工会社】 ・門静や糸魚沢では大雨により浸水する。津波などで寸断された場合には現状の迂回路では時間がかかり、輸送にも支障がでるため、尾幌糸魚沢間が整備されれば非常に助かる。 【運送会社】
周辺市町村との連絡性	・釧路にはよく行くが、往復するのに1日かかるので、時間が短縮されれば早く帰ってくるができる。 【自治体】 ・日常生活の中で釧路に行く機会は多いと思う。その場合1日がかりになってしまう。できる限り短時間で釧路と根室を行き来できることは非常に大事なことだと思う。 【商工会議所】
移動時間が観光を阻害	・札幌から釧路まではJRで周遊することができるが、釧路根室地域を周遊するにはレンタカーを使わなければいけない。移動時間が短くなれば釧路からも観光客を誘導できるのではと思う。 【自治体】 ・釧路から根室までの時間がかかるということで根室までの観光客の伸びが少ないと思っている。移動時間が短くなることにより、観光客が根室に来やすくなると思う。 【商工会議所】

2-13) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(道路に求められる機能)

○国道44号尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能としては、全ての項目に関し、97%以上が必要という傾向。
○特に「安全・安心な道路」、「災害時に利用できる道路」について「そう思う」の割合が高くなった。

▼国道44号尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について



質問2-1.
国道44号尾幌～糸魚沢間に必要な道路はどのような道路だと思いますか？以下に示す5つの道路の機能それぞれについて、評価欄に1～5の該当する数字を記入し、その理由をお聞かせください。
1.そう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.そう思わない

A 事故が少なく安心して走れる道路
B ドライバーの負担軽減を図るため、輸送時間の短縮による輸送効率の高い道路
C 冬季に速度低下の大きい市街地においても一定時間で通過できる定時性が確保される道路
D 医療拠点である釧路市へ早く到着するため、速達性を向上させる安定走行が可能な道路
E 津波災害による浸水時にも救援物資輸送などの地域支援に利用できる道路

▼選択した項目が重要だと思う理由 総回答数 N=34

項目	主な意見
事故が少なく安心して走れる道路	・カーブと勾配の変化が多く、市街地では交通量が増える、大きな交差点もある。この区間を別線にて迂回できれば、事故防止となると思う。【商工会議所】 ・高速道路になると上下線で分離されるので、対向車との正面衝突の危険がなくなるため本当は片側2車線が望ましいが、1車線であっても高速道路になると走りやすくなる。【漁業協同組合】
ドライバーの負担軽減を図るため、輸送時間の短縮による輸送効率の高い道路	・根室～帯広間が4時間以内で輸送が可能になれば、途中休憩をしなくて輸送が可能となる。【漁業協同組合】 ・カーブが少なく、信号のない、見通しの良い道路であれば時間短縮となり負担軽減になると思う。【農水産加工会社】 ・現状の道路整備状況では、輸送スケジュールはギリギリの状態であり、10分の時間短縮であっても、輸送に余裕が生まれるのは望ましいことである。出発時間を遅らせることは避けたいため、輸送時間が短縮されれば、目的地に早く到着して休憩を取ることが可能になる。【運送会社】
冬季に速度低下の大きい市街地においても一定時間で通過できる定時性が確保される道路	・冬は時間がかかるので早めに品物を出さなければならない。少しでも夏と同じ時間に近づけられれば、品物を準備するのに助かる。【農水産加工会社】 ・市街地で信号機やカーブなどがあるところに、さらに路面が凍結すると速度が遅くなり、夏に比べると時間がかかるため、夏と同じくらいの時間で走れる道路が必要。【運送会社】
医療拠点である釧路市へ早く到達するため、速達性を向上させる安定走行が可能な道路	・尾幌～糸魚沢間では信号やカーブなどが多いのに加え、交通量も多いことから追越時の減速も多くなり、患者に大きな負担となっている。【病院】 ・救急車の台数が限られており、釧路市への搬送がある場合には拘束時間が長くなり、救急件数が多い場合には、救急車が足りなくなる可能性がある。【消防】
津波災害による浸水時にも救援物資輸送などの地域支援に利用できる道路	・当該区間は冠水で通行止めが発生するので、それが回避できるのであれば良いと思う。【漁業協同組合】 ・平成6年10月に発生した北海道東方沖地震の時は、大きく迂回する必要があるため、輸送に大きな影響が出たため、冠水や地震の影響を考えると、安全・安心な「尾幌～糸魚沢」の整備は必要と思う。【運送会社】

2-14) 第1回地域意見聴取の結果 ヒアリング調査(自由回答)

- その他の意見・要望としては、特にシカ事故への対策要望が多く見られた。
- また、国道44号に追い越し車線があったほうが良いという声も寄せられている。

▼その他の意見・要望

質問3. その他、尾幌～糸魚沢間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。(自由記述)

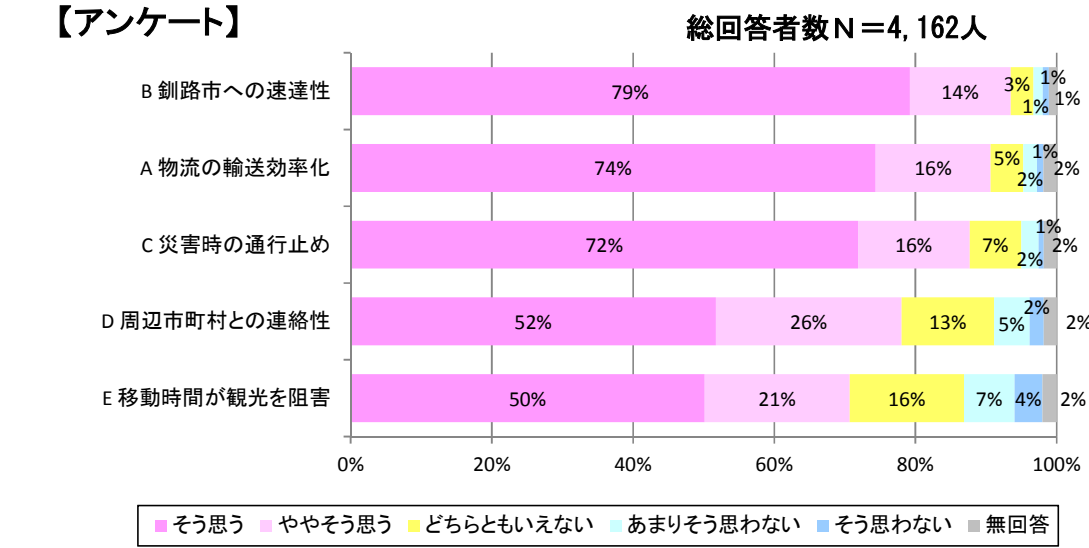
主な意見

- ・北方領土でのロシアとの共同経済活動に向けた官民調査を今年2回行っている。今後、この調査を通じて、ロシアと日本の物流、人流、様々な計画を実施していくことになると思う。この道路を使って、物流、人流が行われると思うので北方領土対策としても道路を一刻も早く整備してほしい。【商工会議所】
- ・国道44号を4車線にできないか。特に釧路へ行く方向は物流であれば農水産品を載せているし、救急搬送では患者を乗せていることから時間に縛られているため、追い越し車線があったほうが良い。【農業協同組合】
- ・シカの横断防止柵が設置され、危険性が以前よりは少し減っていると思うが、まだまだ鹿が多くて危険だと思う。【農水産加工会社】
- ・高速道路はつながらないと効果がでないと思う。部分部分で整備しても多少の効果となってしまう。尾幌糸魚沢については迂回できるような別線があれば、災害時には効果があると思う。【農水産加工会社】
- ・ドライバー希望者の減少と、それに伴う高齢化、トラックの減少が課題となっているため、より効率良く安全に輸送できることが必要となっており、そのためには道路の整備が必要である。【運送会社】
- ・シカが飛び出してぶつくと何百万円の損害となるので、シカが出てこない道路を作してほしい。【運送会社】
- ・平成28年に、現場への出動中にシカとの衝突事故が1件発生したと記憶している。その時は、走行可能な状態であったためそのまま出動したが、もし走行不可能な場合は近隣の消防署から出動してもらい、患者を委ねることになる。シカとの衝突で走行不可能になっても、代車は存在しないため、シカとの衝突には神経を使っている。【消防】
- ・一番の課題は出張医の移動時間で、札幌から根室へ来るときには中標津空港を利用しているのだが、冬季間は飛行機が飛ばないケースが多く、その時は釧路空港を利用している。釧路空港から来る場合は1時間多くかかる。その場合、帰るときは1時間早く切り上げ、来るときは1時間遅く到着することになるため、それだけ診察・診療できる患者の数は減ることになる。【病院】

2-15) 第1回地域意見聴取(アンケート・ヒアリング)結果のまとめ

○第1回意見聴取の結果、将来を見据えた地域の課題、尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について確認。

▼住民・道路利用者が感じる地域課題 【アンケート】

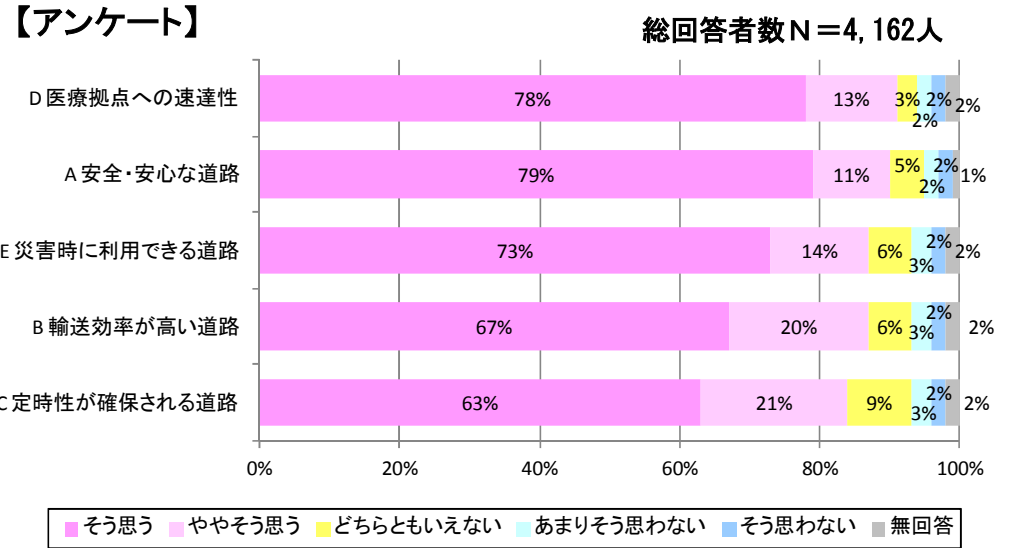


【ヒアリング】

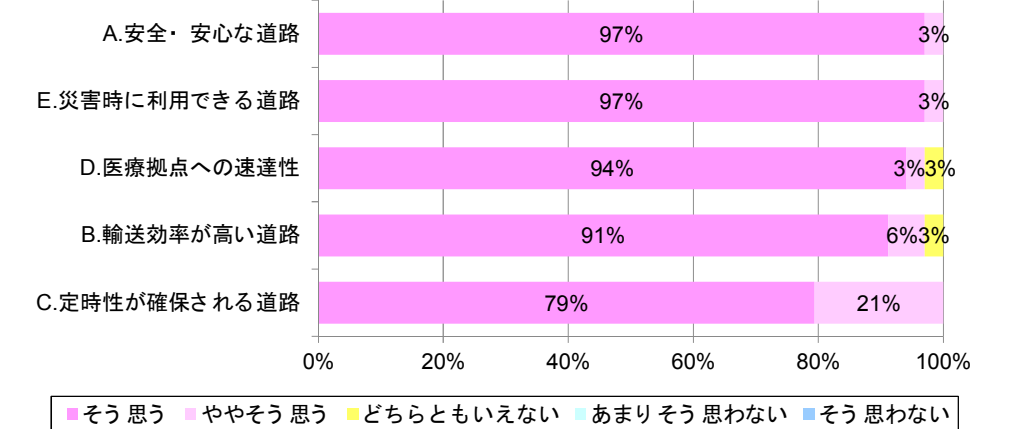
総回答数 N=34

項目	自治体	商工会議所 商工会	農協・漁協	農水産 加工会社	運輸	医療・消防
A 物流の輸送効率化	○	○	○	○	○	○
B 釧路市への速達性	○	○	○	○	○	○
C 災害時の通行止め	○	○	○	○	○	○
D 周辺市町村との連絡性	○	○	○	○	○	○
E 移動時間が観光を阻害	○	○	○	○	○	○

▼尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について 【アンケート】



【ヒアリング】



アンケート、ヒアリング結果から道路整備の必要性を確認

3. 地域意見を踏まえた政策目標

3-1) 政策目標の設定

- 第1回地域意見聴取の結果を踏まえ、本地域の政策目標を設定。
- 別線整備や既存の道路ストックの活用も含め対策案を設定し整備方針を検討。

■政策目標の設定

地域や道路の状況・課題

圏域と地域の将来像

地域意見聴取の結果

- ・日本の食卓を支える主要物流輸送経路の効率性・安全性の向上
- ・地域医療サービスの向上のため、速達性・安定性の向上
- ・大規模地震発生時の避難・復旧活動を支援

■対策案の検討

【物流関連】

- ・線形不良区間の回避による走行性向上
- ・市街地の回避による貨物輸送と生活交通の分離による安全性・効率性向上

【医療関連】

- ・釧路市の医療施設への移動時間短縮
- ・救急搬送時の安定性向上による患者の負担軽減

【災害関連】

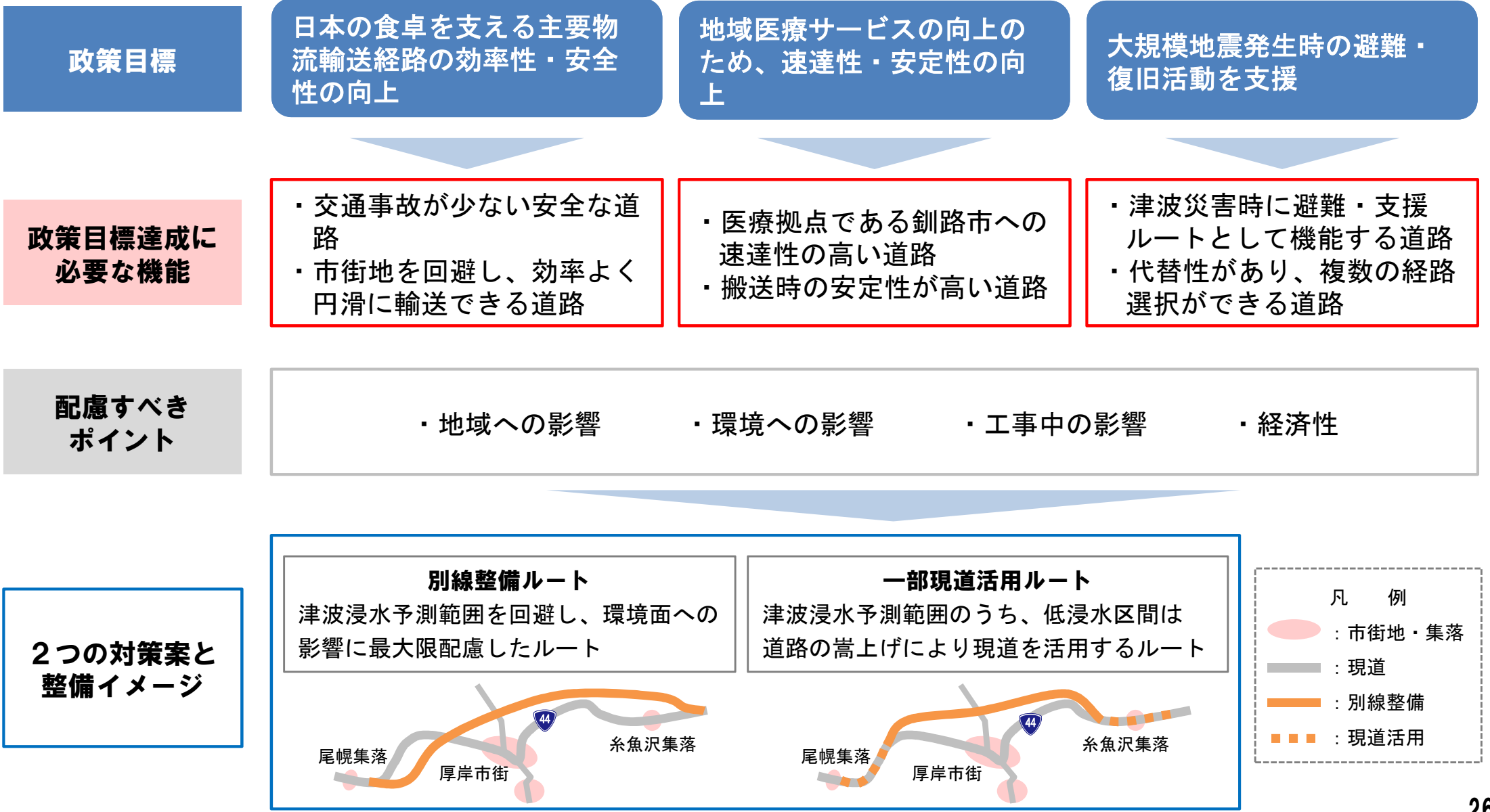
- ・大規模地震による津波発生時の避難・復旧支援経路を確保
- ・地域の基幹ネットワークの多重性確保

別線整備や既存の道路ストック活用も含め対策案を設定し整備方針を検討

4. 路線の整備方針（案）

4-1) 路線の対策案の考え方

○第1回地域意見聴取で地域の課題、尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような2つの対策案を設定。



4-2) 評価項目

地域の課題	政策目標	求められる機能	評価項目
農業・水産業 支援 (物流)	日本の食卓を支える主要物流輸送経路の 効率性・安全性の向上	・市街地を回避し、効率よく 円滑に輸送できる道路	・縦断急勾配(4%超)箇所の回避 ※凍結路面で大型車の登坂不能車両が増加する勾配
		・交通事故が少ない安全な 道路	・貨物輸送と生活交通の分離による 安全性向上
暮らし (医療)	地域医療サービスの向上のため、 速達性・安定性の向上	・医療拠点である釧路市への 速達性の高い道路	・第3次救急医療機関への移動時間 短縮
		・搬送時の安定性が高い 道路	・救急搬送患者の負担となる信号や 急なカーブ※の回避 ※救急搬送時(80km/h)に横加速度が0.15G以上 となり、血圧変動を生じさせるカーブ
災害 (防災)	大規模地震発生時の 避難・復旧活動を支援	・津波災害時に避難・支援 ルートとして機能する道路	・津波浸水予測範囲を回避すること で脆弱性を解消
		・代替路があり、複数の経 路選択ができる道路	・国道44号の代替路確保

配慮すべきポイント	評価項目
地域への影響	家屋や施設等への影響に配慮
環境への影響	樹林地や貴重な湿地などの自然環境への影響に配慮
工事中の影響	工事中の現道交通への影響
経済性	整備区間や構造等に係る費用

4-3) 対策案のコントロールポイントの考え方

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、貴重な湿地等の自然環境、津波浸水エリアの通過を短絡できるルートを設定し、物流拠点施設や消防本部など災害時に拠点となる施設へのアクセスに配慮。



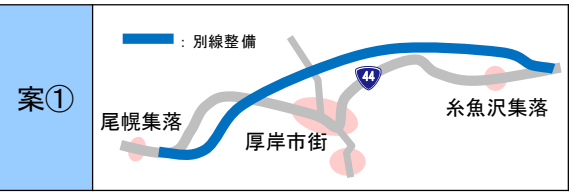
配慮すべき施設等 (社会的状況による要因)	・市街地(都市計画区域)や集落、農用地 ・公共施設(役場、病院、学校、福祉施設等) ・史跡・遺跡
配慮すべき事項 (自然環境)	・自然環境(ラムサール条約登録湿地、鳥獣保護区(特別保護地区)等) ・津波浸水予測範囲、地すべり箇所

4-4) 対策案の概要(案①:別線整備ルート)

- 津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート。
- 市街地回避・津波浸水域回避による安全性・代替性向上のため、全線で新たな自動車専用道路を整備。



■整備イメージ



■整備概要

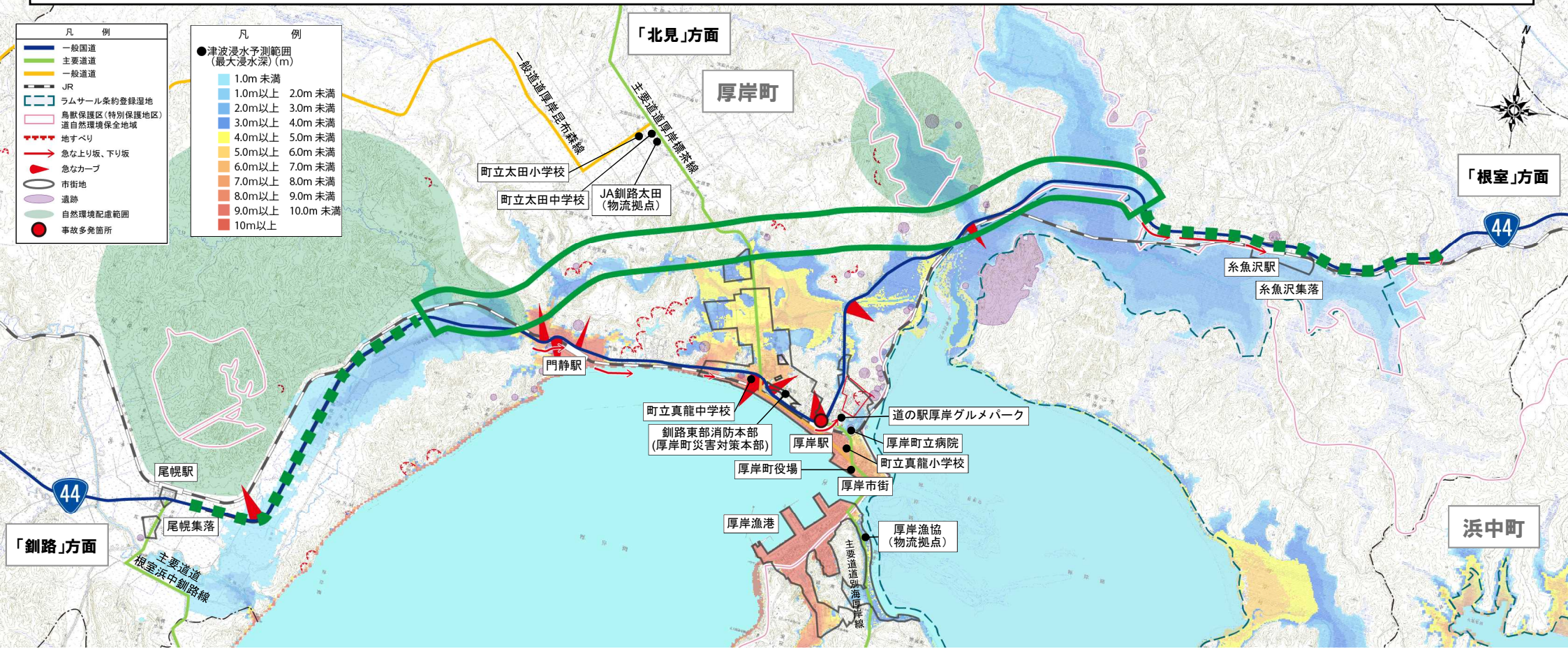
延長	約25km
構造	自動車専用道路(サービス速度80km/を想定)
コスト	約620~700億円

■ポイント

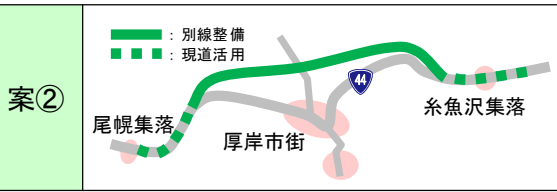
内容	- 市街地や津波浸水予測範囲を回避し、安全性や代替性、耐災害性に優れる - 案②に比べ延長が長くなるが自動車専用道路なのでサービス速度は確保しやすい
----	--

4-5) 対策案の概要(案②:一部現道活用ルート)

- 現道を部分的に活用し、局所的な改良を行うルート。
- 津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の嵩上げを行うことにより現道を活用し、厚岸町市街は新たな自動車専用道路で整備。



■整備イメージ



■整備概要

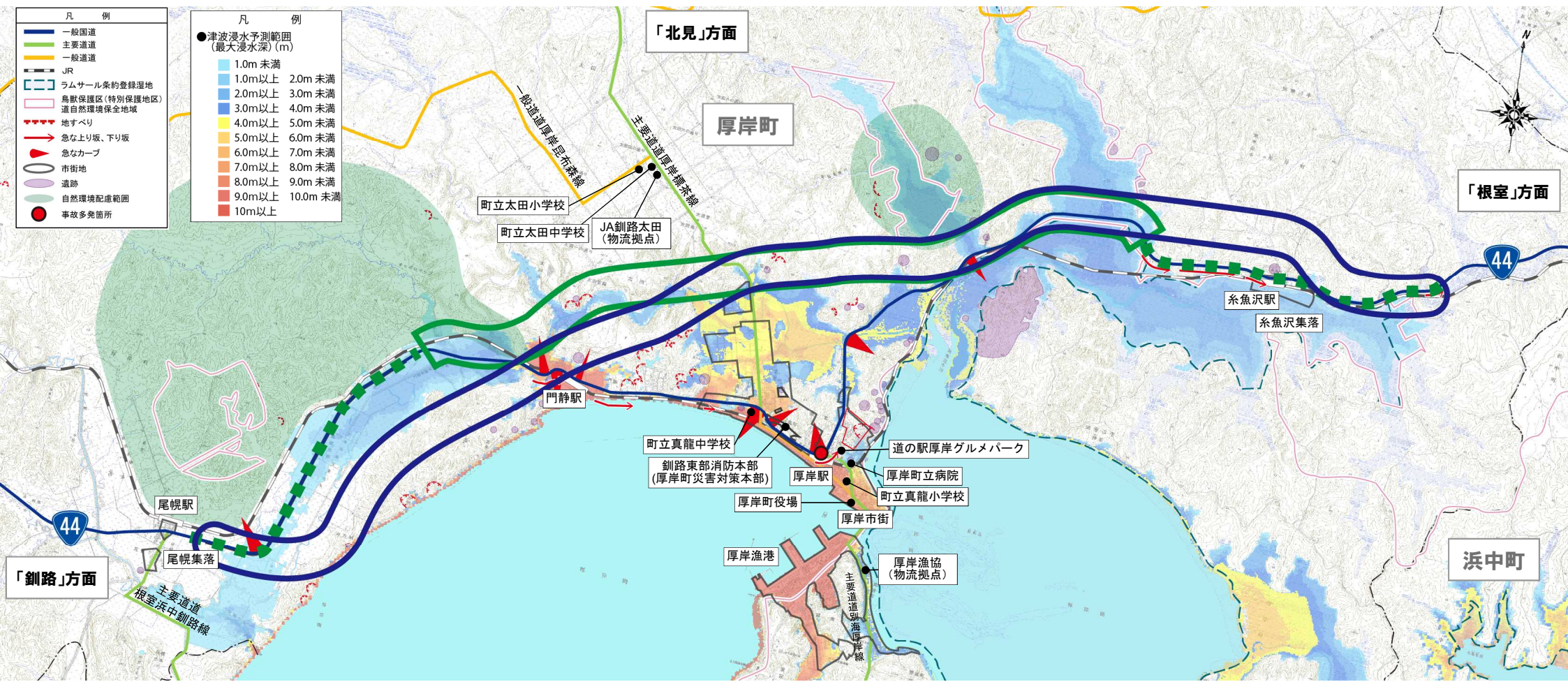
延長	約24km
構造	現道活用区間（サービス速度60km/hを想定） 自動車専用道路（サービス速度80km/hを想定）
コスト	約790～880億円

■ポイント

内容	・現道を活用するため環境面への影響は少ないが一部環境に配慮が必要な範囲を通過する ・現道に一部急な上り下り坂が残り、所要時間はあまり短縮できない ・低浸水域区間は津波対策で道路嵩上げする盛り土を行うためコストが増加する
----	---

4-6) 対策案のまとめ

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から2つの対策案を設定。



案① 別線整備ルート

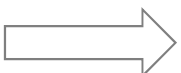
(津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート)



- ・市街地や津波浸水予測範囲を回避し、安全性や代替性、耐災害性に優れる
- ・案②に比べ延長が長くなり、自動車専用道路なのでサービス速度は確保しやすい

案② 一部現道活用ルート

(現道を部分的に活用し、局所的な改良を行うルート)



- ・現道を活用するため、環境面への影響は少ないが一部環境に配慮が必要な範囲を通過
- ・現道に一部急な上り下り坂が残り、所要時間はあまり短縮できない
- ・低浸水区間は津波対策で道路を嵩上げる盛土を行うためコストが増加する

4-7) 対策案の比較

対策案の考え方			【案①】別線整備ルート	【案②】一部現道活用ルート
			津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート	津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の嵩上げにより現道を活用するルート
整備イメージ				
区間延長			約25km（自動車専用道路）	約24km（自動車専用道路＋現道改良）
政策目標	日本の食卓を支える主要物流輸送経路の効率性・安全性の向上	線形不良区間の解消	・急な上り坂、下り坂を回避できる	・急な上り坂、下り坂を一部回避できない
		走行安全性の向上	・貨物輸送と厚岸市街・糸魚沢集落の生活交通の輻輳が解消され安全性が確保される	・糸魚沢集落では、貨物輸送と生活交通の輻輳が残るため、安全性に不安が残る
	地域医療サービスの向上のため、速達性・安定性の向上	第3次医療機関への移動時間短縮	・時間短縮効果が大きい	・一部現道を活用することで、時間短縮効果が小さい
		搬送時の安定性向上	・信号箇所（7箇所）や急なカーブ（9箇所）を全て回避し、搬送患者の負担を軽減できる。	・別線区間は信号箇所（6箇所）や急なカーブ（8箇所）を回避できるが、現道改良区間で信号箇所（1箇所）や急なカーブ（1箇所）が一部残り、搬送患者の負担軽減に支障がある。
	大規模地震発生時の避難・復旧活動を支援	脆弱性の解消	・津波浸水区間を別線整備により解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる	・津波浸水予想範囲にある低浸水区間の現道の嵩上げにより解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる
		代替路の確保	・別線整備により全線代替路を確保できる	・一部別線整備により部分的に代替路を確保できる
配慮すべき事項	地域への影響	家屋等土地利用への影響	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい
	環境への影響	自然環境への影響	・延長が長いですが、樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲を回避しており、自然環境への影響は小さい	・樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲を一部通過するが、樹林等の改変面積が小さいため、自然環境への影響が比較的小さい
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	・別線ルートとなるため、工事中の現道交通への影響は案②に比べ小さい	・現道改良区間は現道交通への影響が大きく、工事中の通行規制が必要
	経済性	整備区間や構造等に係る費用	・経済性に優れる	・津波浸水域を通過するため、対策費用が嵩み、案①に比べ経済性に劣る
			約620～700億円	約790～880億円

5. 第2回地域意見聴取方法

4-1) 第2回地域意見聴取方法

■第2回地域意見聴取の基本方針

○「比較ルート帯（案）」「配慮すべき事項」に対し意見を伺う。

■アンケート配布範囲



■地域意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法			
ヒアリング	【沿線自治体及び関係団体】		
	沿線自治体等	釧路総合振興局、根室振興局、釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、根室市	インタビュー形式での ヒアリング
	関係団体	商工会議所(2箇所:釧路、根室)、商工会(2箇所:厚岸、浜中)、根室市町会連合会婦人部連絡会 農業協同組合(2箇所:JA釧路太田、JA浜中町) 漁業協同組合(3箇所:厚岸漁業協同組合、根室漁業協同組合、浜中漁業協同組合)、農水産加工会社(7箇所) 釧根地区トラック協会、運送会社(3箇所) 消防本部・消防組合(3箇所:釧路東部消防組合消防本部・厚岸消防署、浜中消防署、根室市消防本部) 病院(3箇所:市立釧路総合病院、町立厚岸病院、市立根室病院)	
アンケート	【地域住民及び道路利用者】		
	地域住民	厚岸町(全世帯:約4,000戸)、浜中町(全世帯:約2,400戸)、 根室市(全世帯:約11,600戸)	配布アンケート調査 (約18,000戸)
	道路利用者	市役所、町役場および道の駅(厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ)	常設の留め置きアンケート調査
広域的な利用者		Webアンケート調査	

4-2) 第2回意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や各団体への意見聴取	・地域や道路の課題に関し、自治体や各団体への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。 ・自治体や各団体、観光客との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題	高規格幹線道路の調査中区間(尾幌～糸魚沢間)及び並行する国道44号の現状について、回答者の考える課題を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯(複数案)に対する意見	ルート帯選定にあたり、地域住民等が重視する視点、配慮すべき事項を把握する。	第2回
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

4-3) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

①調査概要

➡ ○本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

北海道横断自動車道（尾幌～糸魚沢間）における 道路計画に関する意見聴取（第2回）

北海道横断自動車道根室線は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市等を経由し、本別ジャンクションから分岐し、釧路市、釧路港、釧路空港を経由して、根室市、根室港に至る根室市へ至る延長約69.4kmの高規格幹線道路です。

現在、本別JCT～阿寒ICまでが開通しており、阿寒IC～釧路西IC間、釧路東IC～釧路別保IC間は国土交通省北海道開発局が整備を進めています。

本アンケートは、このうちの厚岸町尾幌～厚岸町糸魚沢間の道路計画にあたり、地域の皆さまの生活にも役立つ道路とするため、ご意見を伺う調査です。

昨年の12月に実施しました第1回意見聴取では、地域の皆さまが日頃感じられている地域の課題や、必要な道路機能等についてご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きします。アンケートにご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。



■このアンケートでは、尾幌～糸魚沢間のことについてお伺いします。

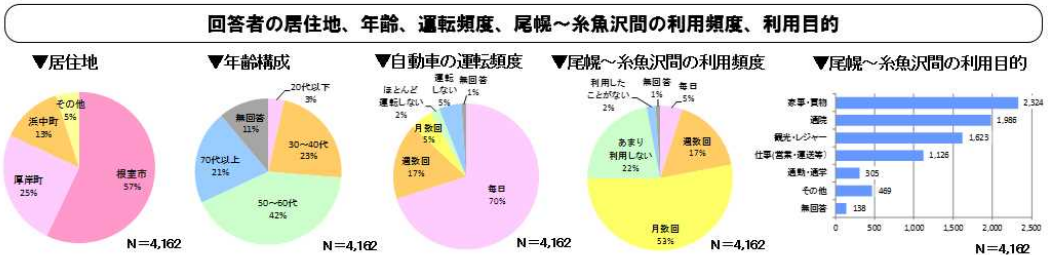


②第1回アンケート調査の結果

➡ ○「将来を見据えた地域の課題」、「尾幌～糸魚沢間に必要な道路」について集計結果を提示

第1回アンケート調査の結果

アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから、4,162件の回答をいただきました。

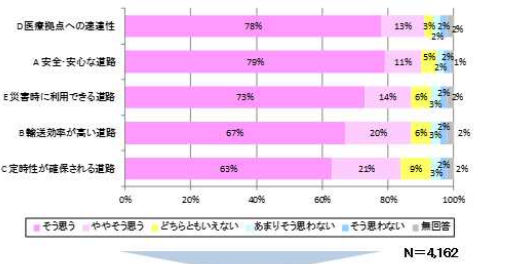


将来を見据えた地域の課題



将来を見据えた地域の課題は、特に釧路市への速達性や物流の輸送効率化が課題であるとの回答をいただきました。

尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能



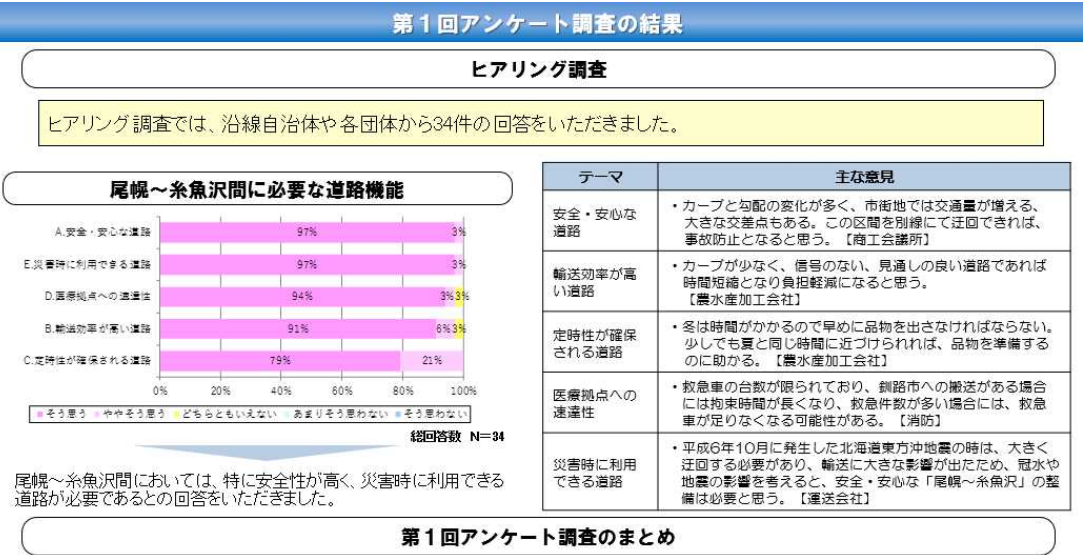
尾幌～糸魚沢間においては、特に医療拠点への速達性や安全・安心な道路が必要であるとの回答をいただきました。

4-4) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

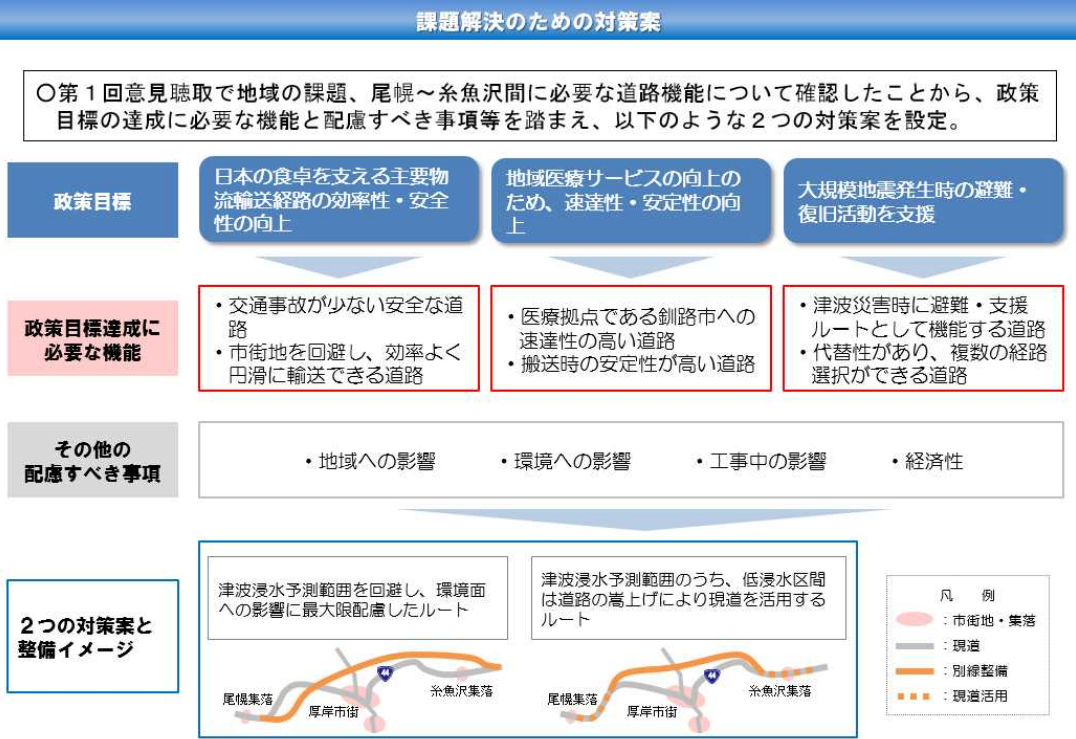
③第1回意見聴取(ヒアリング)の結果

➡ ○設定した政策目標等に対する意見を提示



④課題解決のための対策案

➡ 対象地域における課題解決のための対策案の提示



4-5) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

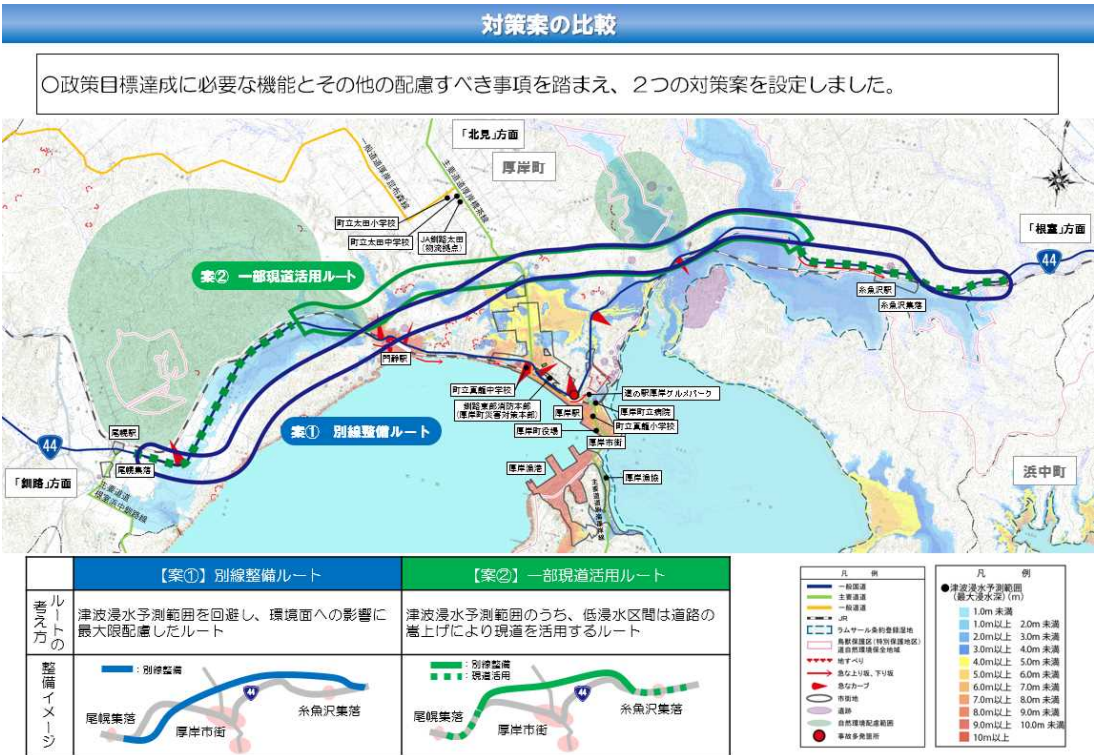
⑤対策案のコントロールポイント

➡ ○対策案の検討にあたってのコントロールポイントを提示



⑥対策案の比較

➡ ○各対策案を提示



4-6) 第2回アンケート調査(案)

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

⑧対策案の比較表

➡ ○各対策案の内容・効果・影響の比較結果の提示

対策案の比較表				
対策案の考え方		【案①】別線整備ルート	【案②】一部現道活用ルート	
		津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート	津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の嵩上げにより現道を活用するルート	
整備イメージ				
区間延長		約2.5km (自動車専用道路)		約2.4km (自動車専用道路+現道改良)
政策目標	日本の食卓を支える主要物流輸送経路の効率性・安全性の向上	線形不良区間の解消	・急な上り坂、下り坂を回避できる	
		走行安全性の向上	・貨物輸送と厚岸市街・糸魚沢集落の生活交通の輻輳が解消され安全性が確保される	
	地域医療サービスの向上のため、速達性・安定性の向上	第3次医療機関への移動時間短縮	・時間短縮効果大きい	
		搬送時の安定性向上	・信号箇所（7箇所）や急なカーブ（9箇所）を全て回避し、搬送患者の負担を軽減できる。	
	大規模地震発生時の避難・復旧活動を支援	脆弱性の解消	・津波浸水区間を別線整備により解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる	
配慮すべき事項	地域への影響	家屋等土地利用への影響	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい	
	環境への影響	自然環境への影響	・延長が長い、樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲を回避しており、自然環境への影響は小さい	
	工事中的影響	工事中的現道交通への影響	・別線ルートとなるため、工事中的現道交通への影響は案②に比べ小さい	
	経済性	整備区間や構造等に係る費用	・津波浸水域を通過するため、対策費用が嵩み、案①に比べ経済性に劣る	
			約620～700億円	

4-7) 第2回アンケート調査(案)

■質問内容・解答欄

質問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 急な下り坂、上り坂の回避	1	2	3	4	5
B 貨物輸送と生活交通の分離	1	2	3	4	5
C 釧路市の医療拠点への所要時間の短縮	1	2	3	4	5
D 信号箇所や急カーブの回避による救急搬送時の負担軽減	1	2	3	4	5
E 津波浸水区間の回避	1	2	3	4	5
F 通行止め時の代替路の確保	1	2	3	4	5

質問2 新たな対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設等への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5

質問3 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

40

4-8) 第2回アンケート調査(案)

・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお投函は、平成●年●月●日(●)までをお願いします。
・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
北海道横断自動車道 根室線 尾幌～糸魚沢間 道路計画に関する意見募集 Web回答用ページ
URL <http://〇〇〇〇>
※釧路開発建設部ホームページからもアクセス可能です。

アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払

●●郵便局 承認 000

差出有効期間 平成●年●月●日まで (切手不要)

釧路市 幸町10丁目3番地

釧路開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道 尾幌～糸魚沢間

道路計画に関する意見募集係 行

見 本

■あなた自身のことについて(記入または該当する番号に○印)

住所 〒000-0000 北海道 厚 岸 市 郡 厚 岸 町 村

性別 ①男性 ②女性 年齢: 50 歳

職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業 ⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業 ⑫無職 ⑬その他 ()

■自動車を運転する頻度を教えてください(該当する1つに○)

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道44号尾幌～糸魚沢間の利用頻度を教えてください(該当する1つに○)

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④あまり利用しない ⑤利用したことがない

■尾幌～糸魚沢間の主な利用目的を教えてください(該当する全てに○)

①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事(営業・運送等) ⑤観光・レジャー ⑥その他 ()

■前回の第1回アンケートに回答しましたか(どちらかに○)

①回答した ②回答していない

北海道横断自動車道(尾幌～糸魚沢間)第2回アンケート 回答欄

質問1. 対策案(ルート案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか?

以下のA～Fの項目について、該当するもの1つに○をつけてください

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A急な下り坂、上り坂の回避	①	2	3	4	5
B貨物輸送と生活交通の分離	1	②	3	4	5
C釧路市の医療拠点への所要時間の短縮	1	2	③	4	5
D信号箇所等の回避による救急搬送時の負担軽減	1	2	3	④	5
E津波浸水区間の回避	1	2	③	4	5
F代替路の確保	1	②	3	4	5

質問2. 新たな対策案(ルート案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか?

以下のA～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけてください

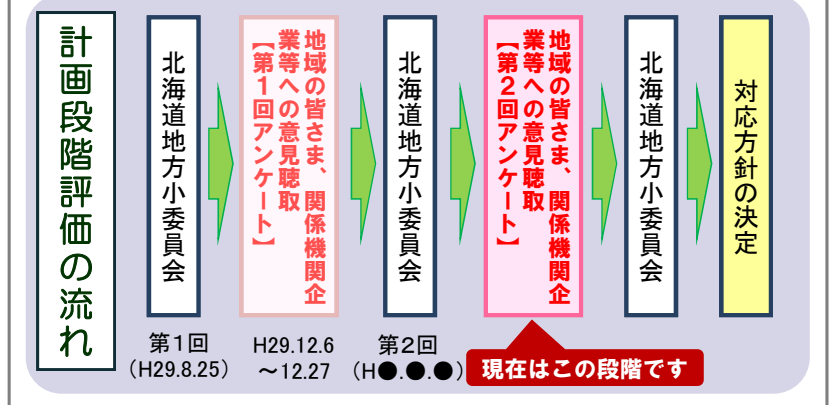
	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A家屋や農用地への影響	①	2	3	4	5
B自然環境への影響	1	②	3	4	5
C工事中の交通規制による影響	1	2	③	4	5
D整備費用が安い	1	2	3	④	5

質問3. その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

.....

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
これは、道路の整備方針を地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道(尾幌～糸魚沢間) 道路計画に関する意見募集係

〒093-8544 釧路市幸町10丁目3番地

電話0154-24-7268

国土交通省

安全で快適な地域づくりのために みなさまのご意見をお待ちしております。

本調査は、釧路根室地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。
そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。
回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます)